

かけ算の技術と地域活性化

第2弾

温室効果ガスを削減し、2050年に脱炭素化と経済成長を両立する「グリーン社会」を実現することが社会の大きなゴールとなり、持続可能な社会構築のための目標であるSDGsは様々な機会に今後の社会発展の課題として議論されています。東北地域は、自然エネルギーの設置率が高く、また農林水産資源にも恵まれています。今後、活力ある地域を実現するためには、これら東北地域の利を活かし、最先端の科学を活用して、新しい技術と産業を生み出すことが求められます。

本シンポジウムでは、かけ算の技術(異分野、異業種、地域等の様々な技術の連携による新たな技術への取組)により「グリーン社会」を目指す取組を最近のデータ活用の研究も含め紹介するとともに、地域活性化として宮城県が取組む放射光関連事業とスタートアップ企業支援について紹介します。

日時 令和6年1月16日(火)
13:00~16:10

会場 東北大学 さくらホール(片平キャンパス)
定員 会場定員 70人
オンライン 100人

参加費無料

Program プログラム

13:00 開会挨拶 東北大学未来科学技術共同研究センター 教授 栗原 和枝氏

13:10 セッション1 <大学から>

1 構造材料研究のためのデジタル・トランスフォーメーションの推進

東北大学工学研究科 教授 吉見 享祐氏

2 地域連携に活かす次世代放射光施設NanoTerasu:東北大学農学研究科の取り組み

東北大学農学研究科 教授、附属放射光生命農学センター センター長 原田 昌彦氏

休憩(10分)

14:10 セッション2 <企業より>

1 産・学・施設の連携による低燃費タイヤ開発の限界突破

住友ゴム工業株式会社 研究開発本部 分析センター センター長 岸本 浩通氏

2 サステナビリティとトライボロジー:潤滑油のパフォーマンスと持続可能な未来

出光興産株式会社 営業研究所 所長 高木 史明氏

3 日本唯一のローカルリチウムイオン電池メーカーとしての事業創発戦略

株式会社I・D・F 取締役 千葉 一美氏

4 三陸産ホヤを利用した機能性食品の開発

青葉化成株式会社 泉開発研究所 商品開発課 課長代理 齊藤 康平氏

休憩(10分)

15:50 セッション3 <地域の話>

1 次世代放射光施設ナノテラス活用に向けた宮城県の取組

宮城県経済商工観光部 新産業振興課 技術副参事兼総括技術補佐 長岩 功氏

2 宮城県のスタートアップ支援の取組について

宮城県経済商工観光部 新産業振興課 主幹(スタートアップ支援班長) 小野寺 研氏

16:10 閉会挨拶

宮城県産業技術総合センター 副所長 千代窪 毅氏

お申込み締切:令和6年1月12日(木)

参加ご希望の方は、所属企業・団体名、連絡先、参加者氏名をご記入の上、FAXまたは申込みフォームからお申込みください。*ご記入いただいた個人情報は、本講演会以外の目的では使用しません。

申込方法

下記URLまたはFAXよりお申し込みください。詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://tribology.niche.tohoku.ac.jp/event/>

022-795-7985

問合せ先

宮城県経済商工観光部新産業振興課
産学連携推進班 担当:阿部、伊藤

E-mail:shinsanr@pref.miyagi.lg.jp

TEL:022-211-2721

*新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみとする場合があります。その場合は、会場聴講をお申し込みの方もオンライン聴講といたしますのでご了承ください。